

令和2年度市民活動センター協働運営事業の主な成果

1 相談機能の強化

(1) 令和2年度相談件数

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年に比べ相談件数が33%（116件）減少した。一方で専門相談の件数は増加し、助成金や会計・税務といった資金面での相談が多かった。

相談内容	登録団体	一般団体	市民・登録外団体	合計
ボランティア関連	0(3)	0(0)	12(26)	12(29)
市民活動団体を知りたい	2(5)	0(1)	18(33)	20(39)
センター登録	0(0)	1(2)	32(86)	33(88)
団体設立	0(2)	0(0)	3(11)	3(13)
NPO 法人設立	0(2)	0(0)	2(5)	2(7)
助成金	17(18)	0(0)	5(1)	22(19)
組織運営	25(8)	0(0)	4(5)	29(13)
協働	0(2)	0(0)	2(0)	2(2)
その他	22(33)	0(3)	40(50)	62(86)
フォロー	28(27)	0(0)	28(34)	56(61)
合計	94(100)	1(6)	146(251)	241(357)

※（ ）内は令和元年度の相談実績

(2) 専門相談事業

曜日を指定せず、専門的な相談内容のものを専門相談として丁寧に対応した。相談内容により、提携する専門家や市内団体に相談員として協力を頂いた。

実績： 70件（うちフォロー25件）

内容： 組織運営、助成金、会計税務など

2 コーディネート機能の強化

多様な主体の交流の場、また、一般市民や企業などがセンターに集う機会を創出し、団体間連携、多様な主体の連携コーディネートを実施した。

まちづくりミーティング

全4回 計44名

7/2 R2センターまつり企画検討ミーティング 参加14名

8/7 R2センターまつり代替企画ミーティング 参加14名

10/2 コロナ禍における市民活動の今後を語り合いませんか？ 参加10名

12/17 オンライン体験講座～その後いかがですか？～ 参加6名

平成30年度から実施。新型コロナウイルス感染症の影響で多くの企画が中止となった。また、対面方式も困難であったことから、オンライン開催がメインとなった。

3 情報発信機能の強化

市民活動センターYoutube の運用開始

動画形式の情報発信として、市民活動センターの Youtube を 1 1 月に開設。
令和 3 年 3 月末時点での動画の総視聴回数は 3, 9 5 3 回。

4 ネットワーク機能の強化

- ・ 専門相談事業について、専門家や市内団体に相談員として協力を継続頂くことで団体間のネットワークを確保している。
- ・ 災害時のボランティアセンター運営等について、平塚市社会福祉協議会と災害前、事後の連携体制構築に向け協議を開始した。
- ・ ウェルシア平塚四之宮店に協力いただき、センター登録団体のチラシをウェルシア店内に掲示することを開始した。
- ・ ボランティアに参加したくなる仕組みづくりとセンター活性化を目的に、大学生が市民活動団体の取材を行い、若者目線で団体紹介をする体制を上げた。

5 地域との連携

- ・ 崇善公民館の居室を利用したセンター登録団体が延べ 1 0 4 団体、市民活動センターを利用した崇善公民館登録団体が 1 9 団体と相互利用が進み、利用団体からも好評であった。

6 その他

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の団体に及ぼす影響に関するアンケート調査を 4 月と 12 月に実施した。4 月調査時には 71%の団体が会議・イベント等の中止・延期をしていたが、12 月調査時には 48%と改善傾向が見られた。